

## ■ 目標

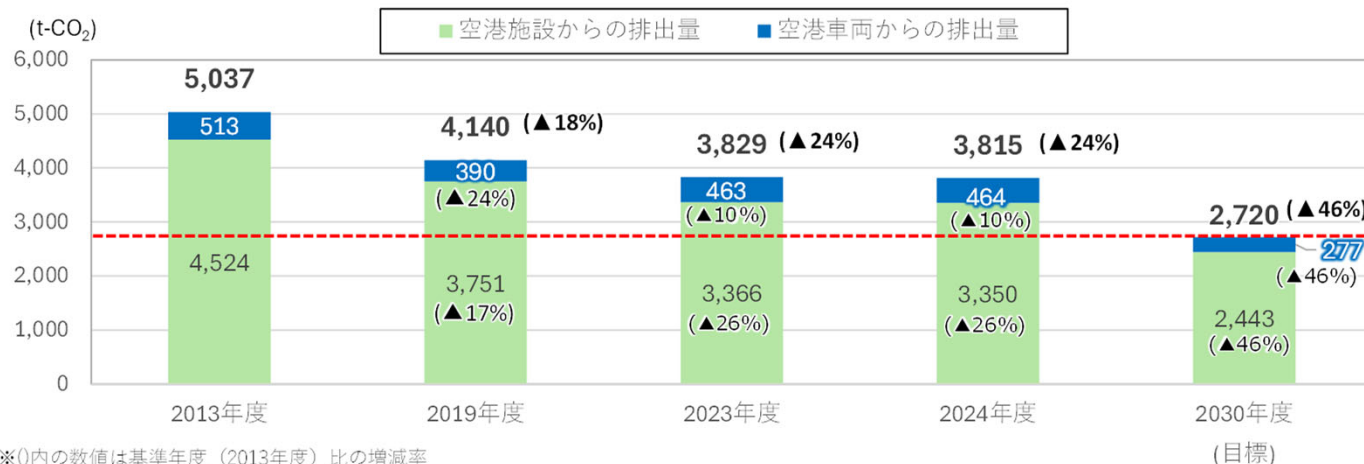
2030年度 CO<sub>2</sub>排出量 2013年度比 46%削減

2050年度 カーボンニュートラル

## ■ 取組状況

- **空港の施設**：施設照明LED化により、CO<sub>2</sub>排出量は推定0.1t-CO<sub>2</sub>/年削減。(2013年度比0.002%相当)
- **空港車両**：空港車両のEV化は今後車両の更新時期にあわせて実施予定。

区分	CO <sub>2</sub> 排出量【t-CO <sub>2</sub> /年】				
	2013年度	2019年度	2023年度	2024年度	2030年度 (目標)
空港の施設からの排出量	4,524	3,751	3,366	3,350	2,443
空港車両からの排出量	513	390	463	464	277
<b>計</b>	<b>5,037</b>	<b>4,140</b>	<b>3,829</b>	<b>3,815</b>	<b>2,720</b>



※函館空港脱炭素化推進協議会構成員からの報告を元に作成

## ■ CO<sub>2</sub>排出量の増減理由

- 空港の施設からのCO<sub>2</sub>排出量は近年はわずかに増加傾向にある。旅客需要の増加がCO<sub>2</sub>排出量の増加に影響した一方で、施設照明LED化がCO<sub>2</sub>排出量の削減に寄与したと考えられる。
- 空港車両からのCO<sub>2</sub>排出量は除雪車両の稼働状況に大きく影響され、2019年度よりも降雪量が多かったため、空港車両からのCO<sub>2</sub>排出量が増加したと考えられる。